

I 平成29年度一般会計の決算状況

1 決算規模及び決算収支

平成29年度は、第四次宇部市総合計画中期実行計画の仕上げや「しごと」と「ひと」の好循環創出などを図るための当初予算627億8000万円(対前年度比△0.7%)に加え、国・県支出金のほか繰越金等の財源を活用し、衆議院議員選挙経費や6・7月豪雨に伴う災害復旧費、誘致企業の操業開始に伴う用地取得奨励補助金など、年度途中に発生した行政需要の増加等に対応し9億9729万9千円を追加措置するとともに、小中学校施設の耐震化事業をはじめとする国の経済対策などに伴う繰越予算32億943万7千円により、最終予算額を669億8673万6千円(対前年度比△2.7%)としました。

一般会計決算収支の状況は、第1表のとおりで、歳入667億5331万7千円(対前年度比+1.0%)、歳出652億7523万2千円(対前年度比+1.1%)と、過去最大であった平成25年度(歳入749億980万7千円、歳出736億2711万9千円)以降、減少傾向にあったものが、4年ぶりにそれぞれ増加に転じ、650億円超の規模となりました。

また、歳入歳出差引額(形式収支)は、14億7808万5千円で、この形式収支から繰越明許費に係る翌年度へ繰り越すべき財源1億1839万6千円を控除した実質収支(純剰余金)は、13億5968万9千円となり、昭和62年度以降31年連続の黒字となりました。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分		平成29年度 a	平成28年度 b	比 較	
				a-b	a/b×100
歳 入 総 額	A	66,753,317	66,114,022	639,295	101.0%
歳 出 総 額	B	65,275,232	64,572,006	703,226	101.1%
歳入歳出差引額 (A-B)	C	1,478,085	1,542,016	△ 63,931	95.9%
翌年度へ繰り越すべき財源	D	118,396	421,678	△ 303,282	28.1%
実 質 収 支 (C-D)	E	1,359,689	1,120,338	239,351	121.4%